

舵輪

第172号

2024年 11月 発行



舵輪は(公財)伏木富山港・海王丸財団の機関誌です

退任の挨拶

海事課主任 二等航海士(前) 大田 大
海王丸ボランティアの皆様。大田です。まずは2年間お世話になりました。海王丸を通してボランティアの皆さんと交流でき、たくさん思い出を作ることができました。特に皆さんと29枚の総帆を展帆できた時は、達成感はもちろん雄大な海の貴婦人の姿に感動しました。

また、この2年間で成長もさせていただきました。今年の元日の震災や連日続いた猛暑など自然を相手に仕事を進めなくてはならなかったり、歴史のある船を管理させていただいて改めて船を維持管理する難しさを学ぶことができました。

立山の景色が綺麗で海の幸も美味しい富山で仕事できてほんとうによかったと思います。休暇中にイベントなどがありましたら、また顔を出させていただきますのでその際には気軽にお声掛けください。本当に2年間ありがとうございました。

着任の挨拶



海事課主任 二等航海士(新)
藤井 つむぎ

10月に着任いたしました、藤井つむぎと申します。出身は兵庫県西宮市です。小学生のころに見た2代目の海王丸に憧れて、船員を志し、神戸大学(旧神戸商船大学)へ進学し、2020年より海技教育機構で4年間三等航海士として乗船勤務をしておりました。富山に住むのは初めてで慣れないことばかりですが、ボランティアの皆さんに助けていただきながら、富山での生活を楽しまたいです。現役の海王丸で帆走したことは1度しかありませんが、富山の海王丸で沢山帆を張って、経験を積んでいきたいと思えます。これからよろしくお願いいたします。



新規養成訓練

10月5日(土)と6日(日)にボランティア新規養成訓練を実施しました。今年度最後の新規養成訓練でもあり、私が講師として担当させていただいた初めての養成訓練でした。

講義内容も頭に入れつつ、強調して伝えたい点はカンペメモを見ながらお伝えしました。これまで実習生の前で講義などはしてきましたが、年上の方々に講義をしたことが無かったため、稚拙な言い回しが多々あったと反省するとともに、改善の余地も沢山見つけられたので、来年度の新規養成訓練に活かしていこうと思っております。

そして今回の新規養成訓練には8名の方の参加をいただき、無事全員に修了証をお渡しすることができました。登檣訓練の様子を見てみると、初めてトップ台まで登檣したときはとても不安そうで身体もこわばっていましたが、ヤード渡りの訓練では慣れてきて、スムーズに登り降りができていのように見えました。今この記事を読んでいるベテランのボランティアの方々も、ご自身が初めて登檣したときの緊張感を思い出して、その気持ちを大切に安全第一で来年も総帆展帆にご参加いただきたいと思います。

今年度は38名の方が、新しくボランティアに登録されました。総帆展帆はみなさまのご協力のおかげで実施できています。これからもよろしく願いいたします。



中止が多かった総帆展帆

今年度は例年と同様に、年間10回の総帆展帆を予定していましたが、猛暑や悪天候の影響で、4回しか実施できませんでした。ただ、中でもフルセイルは3回実施できましたので、フルセイルを1回しかできなかった昨年度よりは良い結果であったと感謝しております。

もっと帆を張りたかったという意見も沢山あるかと思えます。私もその1人です。ただこればかりは天候次第ですので仕方ありません。予備日を設けてほしいという意見も頂きましたが、海王丸は総帆展帆だけでなく、小学生の海洋教室や様々なイベントを実施しています。そのためタイトなスケジュールを調整して、予備日を設けることは極めて困難です。何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます。

現在、来年度の予定を計画しているところですが、私達も天候に恵まれますよう祈っておきますので、皆様も一緒に祈っていただければ嬉しいです。

ありがとう。C帆。

11月3日(日・祝)、4日(月・振)に予定されていたアンベンディングセイルでしたが、天候を考慮し、11月1日(金)に前倒して実施しました。

急な日程変更、そして平日であるにも関わらず、20名ものボランティアの方々に参加していただきました。

高岡市の中川塗装さんにも急遽日程調整していただき、とてもスムーズに作業を行うことができました。帆が全て外されたヤードを見ると、もうすぐ冬が来ることを感じました。

ちなみに「ベンディング」という言葉は海事専門用語で「ヤードに帆を取り付けること」という意味があります。英和辞書では調べても出てきませんのでご注意ください。

富山に来てから作られた海王丸のセイルはフルセイル29枚で1セットとして「A帆」、

次のセットを「B帆」として名前を付けていて、今回取り外したセイルのほとんどが「C帆」です。このC帆は今回のアンベンディングをもって引退となります。C帆は2000年から作成され、2005年から展帆に使用されました。約20年間という長い間、使い続けました。今までありがとうございます、お疲れさまでした。C帆。

そして、C帆が引退したということは、次は新品のセイルの登場です。来年新品のセイルを使用するかは決まってはいませんが、来年のベンディングセイルは4月を予定しております。また詳細が決まりましたら、改めて連絡させていただきますので、皆様のご参加お待ちしております。



ボランティア掲示板

今回の「舵輪」から、ボランティアさんの中で共有したいことや、宣伝、発信などでもできる「ボランティア掲示板」というスペースを設けて頂きました。

今後、皆さんにお伝えしたいことがある方はメールか電話で連絡してください。

そんなボランティア掲示板、最初の寄稿はボランティア番号471番の渡辺さんに頂きました。

「ギア配置の覚え方」

みなさま、今年の展帆お疲れ様でした。来年

も頑張って行きましょう。

さて、横帆の名称は問題ないと思いますが、

① クル・クル・クル・ダン・クル



② ダ・シ・リ・シ・シ



に不安を覚える方も多いと思います。

展帆時はシート、絞帆時はクル・ダンを引きますが、はじめに以下の特殊ルールを覚えておく必要があります。

A. ダンホールは、アッパーゲルンとアッパートップスルのみ(その他はクリューライン)

B. アッパーゲルンシートは、デッキ上には導かれていない

①は舷側ピンレールに着目します。ピンレール上の木製ビレイピンはバントラインなので、鋼製ビレイピンにのみ着目して、4つのクルは下から(クル)コースクリューガーネット、(クル)ロアトップスルクリューライン、(クル)ロアゲルンクリューライン、(クル)ロイヤルクリューラインになります。ロアゲルンとロイヤルの間に(ダン)アッパーゲルンダンホールを入れれば①の完成です。

②ですが、コースとロアトップスルシートは②の並びにはなく、特殊ルールA及びBから(ダ)アッパートップスルダンホール、(シ)アッパートップスルシート、(リ)ロアヤードリフトだが無視、(シ)ロアゲルンシート、(シ)ロイヤルシートになります。

これを覚えておけば、現場で慌てることもなく、スムーズに展帆作業を実施できます。あと、復唱を忘れずに。それでは、よいお年をお過ごしください。

渡辺さんありがとうございました。総帆展帆に向けたお勉強会のような掲示板でした。同じ内容が操帆教本にも載っていますので是非確認してみてください。1回目で真面目な内容でしたが、ここの掲示板はどんな内容でも結構です。「一緒にスキーをしましょう」でも、「船グッズ集めてます」とかでも大丈夫です。

文字数は大体500字以内でお願いします。また次の舵輪発行まで、寄稿お待ちしております。



今後の予定につきまして

2024年12月1日(日) ボランティアの集い

ボランティアの集いは、この1年間の皆様の活動に感謝の気持ちをお伝えさせていただくとともに、ボランティアの皆様の親睦を深めていただくための集まりです。今年ボランティア登録されたばかりで、まだ総帆展帆に参加したことが無い方も遠慮なくご参加下さい。皆様のご参加をお待ちしております。



ボランティアの集いでは海の日にできなかった「海の日表彰」も併せて実施いたします。今年は海王ゴールド賞を受

賞される方が2名、紺青賞を受賞される方が4名もいらっしゃいます。ボランティアの集いのあとは、有志による「餅つき」も実施されます。参加費(500円)をご準備の上、一緒に楽しみましょう。

編集後記

初めて舵輪を作成させていただきました。藤井です。10月に着任し、早1カ月。あっという間でしたが、新しい経験をたくさんさせていただいております。

そしてこれから、私にとって初めての富山の冬がやってきます。雪がどれだけ降るのか不安もありますが、それ以上に楽しみな気持ちでいっぱいです。

ボランティアの皆様も暑さの厳しかった夏に代わり、一気に寒い冬がやってきますので体調管理にお気を付けてください。また来年度沢山帆を張れることを楽しみに準備していきましょう!(ふ)



舵輪 第172号

発行日 2024年11月

E-mail

by-the-wind@kaiwomaru.jp

公益財団法人 伏木富山港・海王丸財団

〒934-0023 富山県射水市海王町8番地

TEL 0766-82-5181

FAX 0766-82-5197

URL <http://www.kaiwomaru.jp>